

# ドローンで施工進捗管理

## 南建設（志賀）が石川初導入

### 現場全体を毎日、簡単にデータ化

南建設（石川県志賀町、南裕基社長）は、コマツが提供するドローンを活用した現場の施工状況進捗管理システム「Everyday Drone」（エブリデイドローン）を、コマツ石川を通じ石

川県内で初めて導入する。「i-Construction」の一環で能越道の道路改良工事に活用するもので、すでに18年末から試験飛行などの準備作業を進めており、2月から現場に本格

導入する予定だ。

日々変化する現場全体の施工状況をドローン測量で毎日、簡単に3次元データ化し把握、効率的な進捗管理を実現するもの。現場での飛行作業から3次元データの完成まで最短なら20分と迅速に実施可能で、人による機器の運搬、設置、計測が必要なLS（レーザースキャナー）3次元測量に比べ工程を大幅に削減、効率化、省人化はもちろん、作業員の安全性向上にも寄与する。

システムは、自動運航する専用ドローン「Explorer」と、現場で高速データ処理可能なGNSベースステーション「EdgeBox」で構成。ドローンの離着陸・飛行は完全自動化され、操作ミス等の事故リスクはほぼ皆無だ。システム運用の際には、機器をレンタルするコマツ石川が、手厚くサポートしていく。

南建設では、国交省発注の「H30 能越道 横地地区道路改良他工事」および「H30 能越道 洲衛高架橋下部その3工事」に同システムを導入

する。南裕基社長は「エブリデイドローン活用で、日々の進捗管理の効率化、精度向上が期待できる。ICT建機、LS、ICT関連ソフトなど自社で保有する機器とあわせて、更なる現場のICT化を図りたい」と意欲を語っている。



「Everyday Drone」導入に向けた試験飛行の様子

システムは、自動運航する専用ドローン「Explorer」と、現場で高速データ処理可能なGNSベースステーション「EdgeBox」で構成。ドローンの離着陸・飛行は完全自動化され、操作ミス等の事故リスクはほぼ皆無だ。システム